

「地域力連携拠点事業」ならびに「チームえびすについて」の紹介

Q 「地域力連携拠点事業」や「チームえびす」とは、どのようなものなのでしょうか？

A はい、「地域力連携拠点事業」は、昨年度から始まった国の事業です。
地域の中小企業さんやこれから創業を考えておられる方々が抱かれている悩みや問題について、地域の産業支援機関の力を総動員し、きめ細かな支援を行い、ワンストップで対応し、少しでも地域を良くしていこうと言う事業です。

Q なるほど、それで連携ですね。ところで具体的には、どのような支援を行うのですか？

A はい、応援コーディネーターと呼ばれる専門家を、それぞれの地域力連携拠点に配置して、新規創業や経営改善に関する無料相談、問題解決のための専門家派遣、さらに意識啓発に向けたセミナーの開催などを行っています。

Q 様々な問題に対して相談にのって頂けるということなんですね。

A はい。全国には、中小企業さんや、これから事業を興そうとする方を支援するこの「えひめ産業振興財団」のような、産業支援機関が沢山あります。
そこで、これらの機関が互いに連携を取って、それぞれの得意分野を活かしながら、力を合わせることによって、相談者に、より良い支援を提供していきましょう、というのが「地域力連携拠点事業」の主旨です。

Q なるほど。県内の産業支援機関が総力をあげて応援してくれるということは、とても心強いことですね。では、この「地域力連携拠点事業」と「チームえびす」とはどのような関係があるのですか。

A はい、愛媛県では、この「地域力連携拠点事業」を、さらに充実したものとするために、本県独自の取組みとして、これらの県内の地域力連携拠点12拠点到、伊予銀行などの金融機関や産業支援機関合計3ヶ所を加えました15拠点を、「チームえびす支援拠点」として位置づけるとともに、農協や漁協、愛媛県産業技術研究所、発明協会などをパートナー機関として加えたチームを結成しました。
これら支援拠点とパートナー機関をあわせたチームのことを「チームえびす」と呼んでいます。
“えびす”という名前は、Ehime Business Support Network の英文の頭文字を組み合わせたものです。

Q 「チームえびす支援拠点」は、県内では15拠点もあるんですね。その15拠点をご紹介いただけますか？

A はい、ご紹介いたします。

- ① 愛媛県商工会連合会
 - ② 松山商工会議所
 - ③ 宇和島商工会議所
 - ④ 今治商工会議所
 - ⑤ 八幡浜商工会議所
 - ⑥ 新居浜商工会議所
 - ⑦ 大洲商工会議所
 - ⑧ 愛媛県中小企業団体中央会
 - ⑨ 新居浜にある、財団法人東予産業創造センター
 - ⑩ (株)西条産業情報支援センター
 - ⑪ 株式会社伊予銀行
 - ⑫ 株式会社愛媛銀行
 - ⑬ 愛媛信用金庫
 - ⑭ 財団法人今治地域地場産業振興センター
 - ⑮ えひめ産業振興財団
- の、合計15拠点です。

Q なるほど、「チームえびす」ですか。「えびす様」は、七福神の中でも、日本古来の神様ですし、商売繁盛の神様ですね。まさに愛媛県の中小企業の発展にはピッタリの名前ですね。

A よくご存じですね。

この「チームえびす」のような取り組みは、愛媛県だけの取り組みで、“えひめモデル”として、全国的にも非常に注目を浴びているんですよ。

Q そうですか、商売繁盛につながる支援をしたい、と言う気持ちがよく伝わってきます。

ところで支援事業も、色々な事業、沢山の事業があると思いますが、この15拠点にいけば、全部対応していただけるのですか？

A いえ、全ての拠点で、全ての事業に対応できるわけではありません。そこで「チームえびす」が活躍します。

もし、ご相談いただいた拠点だけで対応ができない時には、コーディネーターが対応できる拠点を探し、紹介します。相談者が望まれれば、その拠点に連絡を取り、同行してフォローを行います。

また複数の支援にまたがる場合は、関係する拠点同士で連携を取ってご支援に当たらせていただきます。

Q なるほど、支援機関や関係機関がタッグを組んで地域を良くしていこうというのが「チームえびす」なのですね。

A はい、その通りです。

ご相談をご希望の方は、まずはお気軽に、お電話下さい。

また、先ほどご紹介いたしました15拠点のうち、お近くの各拠点にご連絡していただいても結構です。

Q なるほど。ご相談されたい方は、直ぐに最寄の拠点にご相談されればいいのですね。

A そのとおりです。えひめ産業振興財団をはじめとする、「チームえびす」のメンバーが一斉けん命対応させていただきます。